

会 議 記 録			
会議の名称	環境市民厚生常任委員会		会議場所 第1委員会室 担当職員 小野
日 時	令和4年3月8日（火曜日）		開 議 午前10時00分 閉 議 午後 2時29分
出席委員	◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 竹田 西口		
理事者 出席者	【環境先進都市推進部】山内部長 【環境政策課】大倉課長、綾野環境政策係長、名倉環境保全係長 【市民生活部】森川部長 【市民課】増田課長、上澤市民相談係長 【保険医療課】吉野高齢者医療係長、西田国保給付係長、坂田国保料係長 【税務課】伊豆田課長 【健康福祉部】佐々木部長 【地域福祉課】田端課長、中野生活支援担当課長、門下係長、西山副課長 【障がい福祉課】木村課長、中澤障がい総務係長、 【高齢福祉課】松本課長、鈴木副課長 【健康増進課】大西課長、中山健康事業担当課長、中村副課長 【こども未来部】阿久根部長 【子育て支援課】山内課長、井尻副課長、川田こども給付係長 【保育課】中川課長、橋本保育政策係長 【市立病院】玉井病院事業管理者、松村管理部長 【病院総務課】土岐課長、山下管理係長		
事務局	山内事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 3名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 開会

2 事務局日程説明

3 陳情

<長澤委員長>

当常任委員会所管の陳情が4件提出されている。4件とも意見陳述の申し出を受けている。ただ今から意見陳述の機会を設けることとしたいが、異議はないか。

（異議なし）

<長澤委員長>

異議なしと認め、陳情者の意見陳述の機会を設けることを決定する。それでは、「介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情」を議題とし、陳情者による意見陳述、質疑を行う。

[意見陳述者（松本隆浩氏）、発言席へ]

<長澤委員長>

意見陳述の内容は、要望の趣旨・補足説明とし、陳述時間は10分以内で終了するよう、簡潔に願います。

[請願者意見陳述（趣旨説明）]

～10：07

[質疑]

<竹田委員>

介護職にもいろいろな職種があるが、どのような方の賃金が安いのか。

<陳情者>

厚生労働省の出先機関である介護労働安定センターが、毎年介護士などの賃金や労働条件の調査を行っている。ケアマネージャーやヘルパーの賃金は、常勤・非常勤を問わず、他の産業の労働者の平均と比べると低い状況がある。例えば看護師であっても、医療施設に勤務する看護師と介護施設に勤務する看護師では、生涯賃金で60%程度の差があると考えている。

<並河委員>

人員配置は、基準に対して、どのくらい不足しているのか。

<陳情者>

業種によって異なるが、国の基準が1対3に対し、実際は1対2.5～2.6人で対応している状況である。

<平本委員>

既に意見書を採択された市町はあるか。

<陳述者>

京都府内では3月に一斉に意見書の提出を依頼した。全国的には、多くの自治体で意見書を採択していただいている。

(質疑終了)

<長澤委員長>

この陳情をどのように取り扱うか。

<平本委員>

必要性は感じるが、聞き置く程度としてはどうか。

<並河委員>

一般質問で取り上げられていた議員もおられたが、厳しい労働状況の中で勤務されている方がいる。少しでも労働環境が改善されるよう、国に対して意見書を提出してはどうか。

<西口委員>

介護の仕事は大変な状況にあると思うが、他市の状況を把握しながら対応する必要があると考える。

<長澤委員長>

これまでの意見を勘案し、本件については、貴重な意見として聞き置くこととし、今後の委員会活動の参考としたいと思うがどうか。

(異議なし)

<長澤委員長>

そのように取り扱うこととする。次に「原則自宅療養」の撤回、必要な入院・療養が保障される医療体制を求める陳情」を議題とし、陳情者による意見陳述、質疑

を行う。

[意見陳述者（松本隆浩氏）、発言席へ]

<長澤委員長>

意見陳述の内容は、要望の趣旨・補足説明とし、陳述時間は10分以内で終了するよう、簡潔にお願いします。

[請願者意見陳述（趣旨説明）]

～10：25

[質疑]

<西口委員>

他市の意見書の提出状況はどうか。

<陳情者>

先ほどの議題と同様に、京都府内では3月議会で議論していただいております、現時点では意見書は提出されてはいない。しかし、どこの議会でも熱心に議論されていると聞いている。

(質疑終了)

<長澤委員長>

この陳情をどのように取り扱うか。

<西口委員>

現状では、聞き置く程度としてはどうか。

<長澤委員長>

これまでの意見を勘案し、本件については、貴重な意見として聞き置くこととし、今後の委員会活動の参考としたいと思うがどうか。

(異議なし)

<長澤委員長>

そのように取り扱うこととする。次に「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める陳情」を議題とし、陳情者による意見陳述、質疑を行う。

[意見陳述者（松本隆浩氏）、発言席へ]

<長澤委員長>

意見陳述の内容は、要望の趣旨・補足説明とし、陳述時間は10分以内で終了するよう、簡潔にお願いします。

[請願者意見陳述（趣旨説明）]

～10：31

[質疑]

<平本委員>

他市も含め、この3月議会で初めて提案されたのか。

<陳情者>

そのとおりである。

(質疑終了)

<長澤委員長>

この陳情をどのように取り扱うか。

<平本委員>

陳述の中で現場の声を聞かせていただいた。全国的な傾向は分からないが、京都府では、入院医療はコントロールセンターが管理しており、円滑に機能していると聞いている。重傷者も優先的に入院するような制度となっているようなので、聞き置く程度としてはどうか。

<長澤委員長>

これまでの意見を勘案し、本件については、貴重な意見として聞き置くこととし、今後の委員会活動の参考としたいと思うがどうか。

(異議なし)

<長澤委員長>

そのように取り扱うこととする。次に「保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情」を議題とし、陳情者による意見陳述、質疑を行う。

[意見陳述者（松本隆浩氏）、退席]

[意見陳述者（藤井伸生氏）、発言席へ]

<長澤委員長>

意見陳述の内容は、要望の趣旨・補足説明とし、陳述時間は10分以内で終了するよう、簡潔に願います。

[請願者意見陳述（趣旨説明）]

～10：42

[質疑]

<西口委員>

他市も含め、この3月議会で初めて提案されたのか。

<陳情者>

亀岡市では初めてであるが、何年も陳情している。京都市では、2年前に国に対して意見書を提出していただいた。

(質疑終了)

<長澤委員長>

この陳情をどのように取り扱うか。

<並河委員>

子どもが好きで保育士になられる方も多いが、全産業の中でも保育士の給与水準は20万円程度低いと言われている。小・中学校の教員と比べても安いと言われている。子育て施策に力を入れるためにも意見書を出してはどうか。

<西口委員>

将来を担う子どもたちの育成を行う子育て施策の重要性は誰もが認識していることである。一方で、保育士の給与水準の上昇について議論されてから間もない状況であり、段階を経て方向性が定まってから検討するべきであると考えため、今回は聞き置く程度としてはどうか。

<長澤委員長>

これまでの意見を勘案し、本件については、貴重な意見として聞き置くこととし、今後の委員会活動の参考としたいと思うがどうか。

(異議なし)

<長澤委員長>

そのように取り扱うこととする。

[意見陳述者(藤井伸生氏)、退席]

4 付託議案審査

[理事者入室] 市立病院

(1) 第62号議案 令和3年度亀岡市病院事業会計補正予算(第2号)

<病院事業管理者>

(あいさつ)

<病院総務課長>

(資料に基づき説明)

~11:01

[質疑]

<並河委員>

コロナの病床を4床から6床に増やしたとのことであるが、看護師の負担は大きくなっていないか。

<病院事業管理者>

防護服の着替えなどの手間は増えているが、コロナの患者は1人1室とし、相部屋の部屋も1室として使用しているため、空き部屋が増えた分、看護師の負担は減っていると考えている。清掃業務などは業者に委託している。

<並河委員>

コロナ患者の入院を断ったことはあるか。

<病院事業管理者>

入院病床の管理は京都府のコントロールセンターが行っており、その指示に従って対応している。

[理事者退室] 市立病院

[理事者入室] 環境先進都市推進部

(1) 第55議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

<環境先進都市推進部長>

(あいさつ)

<環境政策課長>

(資料に基づき説明)

～ 11 : 21

[質疑]

<並河委員>

(仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設のプロポーザルは、市内業者を対象とするのか。

<環境政策課長>

公募型で広く募集した。その結果、市外の業者が応募され、市内の業者の応募はなかった。

<平本委員>

河川の近くであり、地盤が弱いことも考えられる。地盤補強の予算なども見込んでいるのか。

<環境政策課長>

調査結果によって工事内容は変わるが、どのような工法であれば建設費が抑えられるのかということも検討していきたい。

<平本委員>

喫煙ブースの入札が不調になったとのことであったが、予定価格は適正なのか。

<環境政策課長>

亀岡駅南に設置している喫煙ブースを参考とし、同等程度の金額を見込んでいる。

[理事者退室] 環境先進都市推進部

[理事者入室] 市民生活部

(1) 第55議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

<市民生活部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～ 11 : 31

[質疑]

<富谷委員>

後期高齢者検診は、コロナ禍の影響で検診控えはあったのか。

<市民生活部長>

当初は2,840人を予定していたが、現時点では2,520人となる見込みであり、コロナの影響が出ているのではないかと考えている。

(2) 第56号議案 令和3年度亀岡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

<市民生活部長>

(資料に基づき説明)

～ 11 : 56

[質疑]

<並河委員>

高額医療費の療養費の申請は義務ではないと聞いているが、申請されなかった分は国保の基金に入るのか。

<市民生活部長>

申請の有効期間は2年であり、申請されなかった分は基金に入る。積極的に制度を周知していきたい。

(3) 第58号議案 令和3年度亀岡市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

<市民生活部長>

(資料に基づき説明)

～ 12 : 01

[質疑なし]

[理事者退室] 市民生活部

< 休憩 12 : 02 ~ 13 : 00 >

[理事者入室] こども未来部

(1) 第55議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

<こども未来部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～ 13 : 20

[質疑]

<長澤委員長>

4月から9月分の保育士等処遇改善臨時特例交付金を翌年度に繰り越すとのことであったが、10月以降はどのような取り扱いになるのか。

<保育課長>

公立については、交付税措置される予定である。私立については、9月までと同じ水準で交付される。

<長澤委員長>

令和5年度以降はどのようになるのか。

<保育課長>

具体的な内容は国から示されていないが、基本的な考え方としては、継続していくと聞いている。

<こども未来部長>

この制度は、恒久的に処遇を改善することが条件であるため、今後も事業を継続していく。

<並河委員>

コロナで休園した保育所数は。

<保育課長>

公立保育所では、8園のうち5園で休園した。

[理事者退室] こども未来部

[理事者入室] 健康福祉部

(1) 第55議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第8号)

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～13:47

[質疑]

<並河委員>

コロナ禍で、経済的に困窮している方が増えていると考えられるが、くらしの資金が減額になっている理由は。

<地域福祉課長>

社会福祉協議会が行っている、生活福祉資金の特例貸付や生活困窮者自立支援金など、コロナに対応する救済制度を利用されている方が多いことが理由ではないかと思われる。

<富谷委員>

当初より増額している障がい者福祉サービスの内容は。

<障がい福祉課長>

主な内容として、短期入所経費300万円、児童発達支援経費300万円、放課後等デイサービス900万円である。12月にも増額補正を行ったが、その後に放課後等デイサービスを行う事業所が増加したことで、利用者が増えたことが理由の1つである。

<富谷委員>

放課後デイサービスの需要はあるか。

<障がい福祉課長>

学校でカバーできない部分を、放課後等デイサービスで補いたいという家庭はある。

<富谷委員>

非課税世帯臨時特別給付金について、コールセンターへの問い合わせ件数は。

<地域福祉課長>

電話の着信対応件数が1,240件、確認のための電話発信件数が1,062件、申請書の審査件数が6,373件、窓口での受付件数が872件、来庁者対応などが188件である。

(2) 第57議案 令和3年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～14:06

[質疑なし]

[理事者退室] 健康福祉部

5 討論～採決

[討論なし]

第55号議案	挙手	全員	可決
第56号議案	挙手	全員	可決
第57号議案	挙手	全員	可決
第58号議案	挙手	全員	可決
第62号議案	挙手	全員	可決

[指摘要望事項なし]

6 その他

(1) 行政視察について

<長澤委員長>

議会運営委員会において、視察は新型コロナウイルスの様子を見て判断するということが確認された。環境市民厚生常任委員会でも、そのように対応していきたいと思うがどうか。

—了—

<長澤委員長>

視察が行けるようになったことも考えて、視察先を考えておいていただきたい。

7 行政報告

[理事者入室] 健康福祉部

(1) 新型コロナワクチンの追加接種の状況について

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

～14:22

[質疑]

<大塚委員>

年齢不詳の区分の方はどういった方なのか。

<健康増進課長>

市外で接種された方である。

(2) 新型コロナワクチンの小児への接種計画について

<健康増進課長>
(資料に基づき説明)

～14:23

[質疑なし]

[理事者退室] 健康福祉部

<長澤委員長>
次回は、3月9日(水)10時から委員長報告の確認を行う。

散会 ～14:29